

令和2年産米における生産目安の設定方針について

令和元年12月26日
千葉県農業再生協議会

主食用米の生産目安	282,492トン		
面積換算値	52,120ha	(R1作付実績対比)	▲1,580ha【減】
飼料用米の目標面積	5,500ha	(R1作付実績対比)	+1,586ha【増】

1 県段階における生産目安の設定方針

- 平成30年以降、国から県に対する米の生産数量目標の配分が廃止され、本県では、平成29年3月14日開催の第39回千葉県農業再生協議会通常総会において、「千葉県における平成30年産以降の『需要に応じた生産』取組方針」を策定し、県協議会が地域農業再生協議会（未設置の場合は市、以下「地域協議会等」という。）に対し、主食用米の生産目安を提示することとしている。
- 県全体の生産目安の設定は、国の需給見通しに、千葉県産米の需要実績シェアを乗じて算出することを基本とするが、これまで国が生産数量目標の配分に用いてきた本県産米のシェア（3.282%）と実際の需要実績のシェア（3.990%、H25/26～H30/R1の6中4平均）がかい離していることから、この差を平成30年産～令和2年産の3年間で解消するための調整措置をとることとしている。
- 3年目となる令和2年産米の生産目安は、全国の生産量の見通し708万トンに、本県産米のシェア3.990%を乗じた282,492トン（52,120ha）とし、令和元年産米の作付実績53,700haからの減少分1,580haについては、主食用米から飼料用米等への転換を推進する。

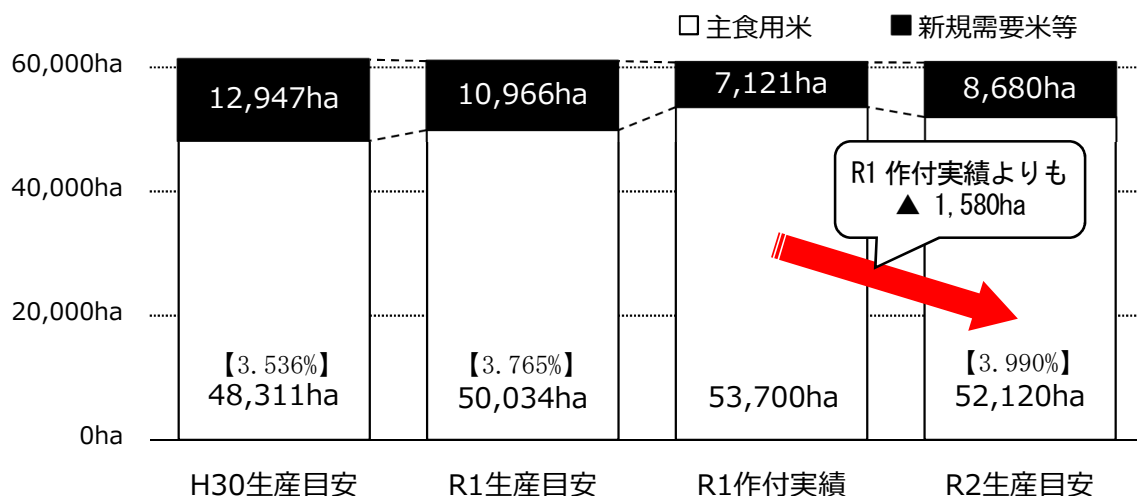


図 生産目安の推移（イメージ） ※【】は千葉県産米需要実績のシェア

表 直近年における生産数量目標／生産目安の推移

	項目	国から提供された生産数量目標			協議会が設定する生産目安		
		H27年産	H28年産	H29年産	H30年産	R1年産	R2年産
千葉県	生産目安 (ト)	-	-	-	259,913	270,183	282,492
	生産数量目標 (ト)	246,490	243,864	241,239	-	-	-
	前年差 (ト)	▲ 2,790	▲ 2,626	▲ 2,625	18,674	10,270	12,309
	前年比 (%)	98.9	98.9	98.9	107.74	103.95	104.56
	面積換算値 (ha)	46,070	45,582	45,091	48,311	50,034	52,120
	前年差 (ha)	▲ 700	▲ 488	▲ 491	3,220	1,723	2,086
全国	生産量 (ト)	-	-	-	7,350,00	7,180,000 ~7,260,000	7,080,000 ~7,170,000
	生産数量目標 (ト)	7,510,000	7,430,000	7,350,000	-	-	-
	前年差 (ト)	▲ 140,000	▲ 80,000	▲ 80,000	-	▲170,000 ~▲90,000	▲ 100,000 ~▲90,000
	前年比 (%)	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 1.1	-	▲2.3~▲1.2	▲1.4~▲1.3
	面積換算値 (ha)	1,420,000	1,400,000	1,390,000	-	-	-
	前年差 (ha)	▲ 26,000	▲ 20,000	▲ 10,000	-	-	-

2 県段階から地域段階への生産目安の設定方針（算定方法）

県協議会が地域協議会等に提示する生産目安の設定は、以下の手順により行う。

- (1) 自家消費・縁故米相当数量として、各地域協議会等の農家戸数に一律 10 アールを乗じ、さらに、市町村別の 10 a 当たり単収（平成 25～令和元年の 7 中 5 平均）を乗じて得られた数量を配分する。
- (2) 種子生産・確保相当数量として、種子生産計画に基づき生産・確保された、主食用米向けの種子生産量（平成 28～30 年の 3 か年平均）を配分する。
- (3) 需要に応じた生産数量として、地域協議会等に照会・把握した令和元年産主食用米の事前契約数量を配分する。
- (4) 県全体の生産目安から、(1)～(3)の合計値を差し引いた残量を、地域協議会等の令和元年 10 月現在の水田台帳面積の割合に応じて配分する。
- (5) 令和元年産米における市町村別の生産目安から大きくかい離することのないよう、次のとおり措置する。
 - ア (1)～(4)の合計値が令和元年産米の生産目安を下回った場合、令和元年産米の生産目安と同数量を配分する。
 - イ (1)～(4)の合計値が令和元年産米の生産目安に対し 106.56%*以上となった場合、令和元年産米の生産目安の 106.56%に当たる数量を配分する。

ただし、生産目安の面積換算値が直近の水田台帳面積を超過しないように調整する。

* 県全体の生産目安の対前年比 104.56%に 2.00%を加算